

平成29年度 《第2回》

重粒子線

医工連携セミナー

平成29年5月22日(月) 17:00～

場所：群馬大学重粒子線医学センター

カンファレンス室

患者の意思決定における尺度とその統計解析手法

日本語版Decision Regret Scaleを中心に

丹野 清美 先生

立教大学 社会情報教育研究センター 助教

患者が診療決定のプロセスにおいて、患者の利益に資する意思決定ができたかということは、治療を進めていく上で欠かせない。しかし、日本において、臨床におけるShared Decision Makingに焦点を当てた実証研究はほとんど行われていない。これまで「患者満足度」という概念は多く用いられてきた。しかし、不確実性下における「患者の利益に資する意思決定」を測定するには、Regret(後悔)という概念が医療の質を評価する際に非常に重要だと考えた。海外では、意思決定におけるRegret(Decision Regret)が数多く研究されており、カナダでは、臨床における診療決定が患者の利益に資するものであったかを患者自身が評価する尺度Decision Regret Scale[Brehaut J.C 2003]を開発している。この尺度はフランス、ドイツ、オランダ、中国、台湾、スペインにおいて妥当性が検証されていたが、日本ではまだ妥当性が検証されてなかったことから、Decision Regret Scaleの日本語版を翻訳し、妥当性検証を行った。さらに、日本語版Decision Regret Scaleをアウトカム評価としてだけでなく、医療処置を受ける患者のどんな要因がDecision Regretに影響しているのか、統計解析手法で明らかにする研究を続けている。患者自身が自分の価値観と目標に照らして、何が自分にとって賢明な選択であり、最適であるのかを選択できる提案を提供することを目的としている。患者の意思決定に関する指標や理論等の総論的な内容と、統計解析手法による可能性と今後の展望を発表する。

=お問い合わせ先=



群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 (E-mail:inoino@gunma-u.ac.jp)

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378